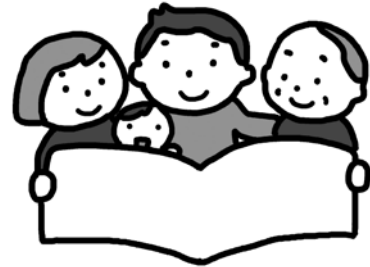


# 第1章

## 計画改訂にあたって



平成15年策定の「三好町教育基本計画」の基本理念である「社会と次代を担う自立した人材の育成」を受け継ぎ、平成28年に新たなみよし市の教育計画「みよし教育プラン」を策定しました。計画期間は10年ですが、急激な社会情勢の変化や教育改革等に対応するため、今後5年間の取組にふさわしいものとなるよう中間見直しを行いました。

# 1 計画改訂の趣旨

本市では、平成15年に「三好町教育基本計画」を策定し、教育環境の整備と充実を図ってきました。この計画には、“0歳から100歳”までの全ての市民に対する教育の指針が、「まちづくりは ひとづくり」の理念の下に示され、特に幼年期（0歳-10歳）までの子どもの育ちに対する支援や、特別支援教育の推進などに関して大きな成果を上げてきました。

さらに、こうした成果を生かしながら、社会情勢や教育をめぐる制度、市民ニーズの変化に的確に対応するために、平成28年3月に「みよし市教育振興基本計画-みよし教育プラン-」（以下、「本計画」という）を策定し、向こう10年間を通じて目指すべきみよしの教育の姿やその方向性を示しました。

しかしながら、現在は、本計画を策定した平成28年当時と比べ、少子高齢化や核家族化のますますの進行や、超スマート社会（Society 5.0）の実現に向けた人工知能（AI）やビッグデータの活用などの技術革新の急速な進歩、世界的な感染症の拡大など、社会情勢の変化の波は大きなうねりとなって押し寄せてきています。そのため、本市を取り巻く現状も大きく変化しました。

教育行政に関しても、国は平成30年6月に第3期教育振興基本計画を閣議決定し、2030年以降の社会変化を見据えた教育政策の在り方を示しました。学校教育においては、新学習指導要領がスタートし、新たな時代を生き抜く資質・能力の育成のために、家庭・地域・学校が連携し社会に開かれた教育課程を実現していくことが求められています。

本計画は策定から5年が経過するため、上記の状況を踏まえ、前期5年の施策についての成果と課題を整理し、新たなニーズや社会情勢の変化に対応するよう中間見直しを行い、「みよし市教育振興基本計画【改訂版】」を作成しました。

## 2 計画前期の総括

本計画は、基本理念「学ぶ楽しさで、人と人をつなぐ」の下、次のような三本の柱が設定してあります。

- I 次代を担う子どもをみんなで大切に育てる
- II 生涯にわたって学び続ける市民を応援する
- III 「ふるさとみよし」を創る市民を育てる

平成28年3月の本計画策定時には、この三本の柱それぞれにおいて成果指標を設定しています。計画前期の総括として、これらの成果指標に照らし合わせて施策全体の進捗を確認することによって、次のように成果と課題をまとめました。

### I 「次代を担う子どもをみんなで大切に育てる」に関する全施策を通しての成果指標とその達成状況

#### ① 子育て世帯を支援する

家庭教育に関する情報を得られている市民の割合		
H26	R2目標	達成状況 (R1)
十分得られている ・得られている —	十分得られている ・得られている 70%	市が提供している家庭教育に関する情報で利用したことがあるもの 「家庭教育だより はぐくみ」 43%


<みよしの教育に関するアンケート>

#### ② 仲間と進んで学ぶ子どもを育てる

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしているか		
H27	R2目標	達成状況 (R1)
そう思う・ どちらかといえばそう思う 小学生 70.6% 中学生 58.5%	そう思う・ どちらかといえばそう思う 小学生 80.0% 中学生 70.0%	そう思う・ どちらかといえばそう思う 小学生 76.0% 中学生 76.0%


<全国学力・学習状況調査>

③ 心豊かな子どもを育てる

人の気持ちが分かる人間になりたいと思っているか		
H27	R2目標	達成状況 (R1)
当てはまる 小学生 75.0% 中学生 73.5%	 当てはまる 小学生 85.0% 中学生 85.0%	当てはまる 小学生 90.0% 中学生 96.0%

<みよしの教育に関するアンケート>

④ たくましい子どもを育てる

全国体力・運動能力調査の体力テスト合計点の平均値		
H26	R2目標	達成状況 (R1)
小学生：男子53.1 (全国-0.8) 小学生：女子54.5 (全国-0.5) 中学生：男子41.0 (全国-0.7) 中学生：女子48.1 (全国-0.6)	 全ての 年代・性別で 全国を上回る	小男53.0 (全国-0.6) 小女55.1 (全国-0.5) 中男40.5 (全国-1.2) 小女49.2 (全国-1.1)


<全国体力・運動能力調査>

⑤ 個に応じた支援を充実させる

35人編成学級の拡充		
H27	R2目標	達成状況 (R1)
小学校 1～3年 中学校 1年	 小学校 1～4年 中学校 1～2年	小学校 1～6年 中学校 1～3年

<学校教育課調べ>

⑥ 安心・安全・快適で信頼される学習環境をつくる

子どもの学校生活全体の満足度		
H26	R2目標	達成状況 (R1)
大変・どちらかといえば満足 81%	 大変・どちらかといえば満足 90%	大変・どちらかといえば満足 81%

<みよしの教育に関するアンケート>

【成果】

以上の達成状況から、「次代を担う子どもたちをみんなで大切に育てる」という視点で取り組んでいる施策は、全体として進んできていることがわかります。特に、新学習指導要領で重視されている「主体的・対話的で深い学び」に係る「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている」と回答する児童生徒の割合増加については、全市を挙げて実施している授業研究や現職教育研修の成果が表れています。

また、「心豊かな子どもを育てる」ことについて、「人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている」と回答する児童生徒の割合増加についても、特別の教科道徳において、考え議論する道徳について研究し、授業改善を行ってきた成果であるといえます。

### 【課題】

- 家庭教育に関する情報については「家庭教育だより はぐくみ（広報みよし掲載）」、「すこやか（子育て支援センター発行）」、「ファミリーサポートセンター通信」、「みよびよ！（子育てアプリ）」、「みよし市HP」などがありますが、必要な人に届いているのか、十分な情報内容であるのか、検証していく必要があります。
- たくましい子どもを育てるという視点で、小中学校での体力テストの結果を成果指標にしています。ここ数年、県平均は上回っているものの、全国平均は下回る状態が続いています。「体力向上カード」や「体づくり運動プログラム」を作成していますが、その活用状況の把握や体力向上への効果を検証しなければなりません。

## Ⅱ 「生涯にわたって学び続ける市民を応援する」に関する全施策を通しての成果指標とその達成状況

### ① 生涯学習環境を整える

生涯学習講座を受講した人の数		
H26	R2目標	達成状況 (R1)
延べ 2,563人	延べ 4,500人	延べ 2,334人
生涯学習活動を行っている団体の数		
H26	R2目標	達成状況 (R1)
生涯学習活動登録団体 17団体	生涯学習活動登録団体 30団体	生涯学習活動登録団体 18団体

<生涯学習推進課調べ>

### ② 生涯スポーツを推進する

成人の週1回以上のスポーツ実施率		
H27	R2目標	達成状況 (R1)
44.9%	60.0%	42.5%

<スポーツ活動に関するアンケート>

総合型地域スポーツクラブで活動した延べ人数		
H26	R2目標	達成状況 (R1)
42,641人	50,000人	53,187人

<スポーツ課調べ>

### ③ 文化活動を活性化する

サンライズを活用した市民の数（図書館利用者数＋生涯学習講座利用者数）		
H26	R2目標	達成状況 (R1)
83,119人	293,500人	272,239人

<生涯学習推進課調べ>

「本を読むことが好き」児童生徒・市民の割合		
H26	R2目標	達成状況 (R1)
小学生・中学生 74% 市民 72%	小学生・中学生 80% 市民 80%	小学生・中学生 77% 市民 71%

<みよしの教育に関するアンケート>

### 【成果】

以上の達成状況から、「生涯にわたって学び続ける市民を応援する」という視点で取り組んでいる施策は、平成28年に開館した図書館学習交流プラザサンライズを中心に、図書館の利用促進及び生涯学習講座の充実を進めてきました。特に図書館利用者については、サンライズ開館後飛躍的に増えていることが分かります。

また、地域総合型スポーツクラブは、平成28年におかよし・きたよし地区に「三好ともいきスポーツクラブ」を設立し、市内のそれぞれの地域で活動が広がりを見せ、利用者が増加してきました。

市民が活動する機会や場所、施設等を整備してきたことによって、学び続ける市民の裾野を広げることにつながっているといえます。

### 【課題】

- 生涯学習環境を整えるという視点で、生涯学習講座の受講者数と生涯学習活動登録団体数を成果指標としています。令和元年度の受講者数は、平成26年度と比較して減少しています。多様なニーズに対応するため、開催講座を見直したり、土日や夜間の講座を増やしたりしてきましたが成果が表れていません。生涯学習活動を始めようと一歩踏み出す市民を後押しするような手立てが必要です。また、R2の目標値が適切であったかどうかの検証も必要です。生涯学習活動登録団体についても、どの団体までを登録団体と見なすのかを明確にして成果を測っていく必要があります。
- 生涯スポーツを推進するという視点で、総合型地域スポーツクラブの活動が拡大している一方で、成人の週1回以上のスポーツ実施率が伸びていません。全ての年代でスポーツに親しむ市民が増えるような取組を検討していく必要があります。

### Ⅲ『ふるさとみよし』を創る市民を育てる』に関する全施策を通しての成果指標とその達成状況

#### ① ふるさと学習を推進する

「本市に関する次のことがらを体験(参加・訪問など)したことがある」市民		
H26	R2目標	達成状況(R1)
三好池まつり 56%	市民の みよしに関する ことがらとの 関わりを 増やす	53% (-3)
三好いいじゃんまつり 55%		56% (+1)
三好大提灯まつり 50%		50% (±0)
カヌーのまち みよし 11%		13% (+2)
アートのまち みよし 48%		45% (-3)
特産のかき・なし・ぶどう 71%		67% (-4)
土別市・木曾町との友好 22%		21% (-1)
コロンバス市との友好 15%		12% (-3)
石川家住宅の公開 13%		17% (+4)
有数の陶器産地であったこと 8%		9% (+1)

<みよしの教育に関するアンケート>

#### ② 人と人との出会いを生み出す

『地域の行事に参加する』児童生徒の割合		
H27	R2目標	達成状況(R1)
小学校 73.2% 中学校 59.4%	地域と関わりを持つ 子どもを増やす	小学校 74.4% 中学校 69.7%

<全国学力・学習状況調査>

「家の人が学校の行事に来る」児童生徒の割合 ※成果指標を改めました →学校に協力したり参加したりすることのできる活動のうち学校行事の割合		
H26	R2目標	達成状況(R1)
保護者 72% 市民 26%	学校と関わりを持つ 保護者・市民を増やす	保護者 63% 市民 29%

<みよしの教育に関するアンケート>

「協働のまちづくり推進の取組に満足している」市民の割合		
H25	R2目標	達成状況(R1)
やや満足以上 40.1%	やや満足以上 49.0%以上	やや満足以上 25.0%以上

<行政評価アンケート>

## 【成 果】

以上の達成状況から、「『ふるさとみよし』を創る市民を育てる」という視点で取り組んでいる施策は、成果指標からは大きな変化は見られません。しかしながら、地域の行事に参加する児童生徒の割合は増加しており、教育活動において地域での体験的な学習を重視して取り組んできた成果であるといえます。

## 【課 題】

- 児童生徒に対しては、副読本「みよし」を活用した郷土学習により、みよし市の魅力を体験したり、発見したりできるような具体的な取組を続けています。一方、市民に対する「ふるさと学習」として行っているそれぞれの取組が、みよし市の魅力の再発見にどの程度効果があるのか、又は「ふるさとみよし」の良さを感じることに繋がっているのか、について、市民アンケート等で把握できるようにしていく必要があります。
- 家庭や地域が学校の行事や教育活動に積極的に参加していく仕組みづくりや、児童生徒が地域に出て行って活動している内容の整理ができていません。それぞれの地域や学校が、それぞれで活動を行っているというのが現状です。



### 3 中間見直しによる主な変更点

本計画は、10年計画（平成28年度から令和7年度まで）であることから、「教育の基本理念」及び「三本の柱と目指す人間像」については、策定時のまま継続します。そのため、三本の柱に沿って全施策を体系付ける構成も維持していきます。

それぞれの施策については、計画前期の総括で明らかになった成果と課題を踏まえ、新たな教育的ニーズに対応する施策を加えるなど、必要な見直しを行っています。また、各事業が有機的に結び付き効果が上がるように、施策ごとの事業を整理したほか、表現の修正を行っています。

計画後期においても計画前期同様に重点施策を設定し、これまでの「20の作戦」を「20の作戦Plus One」として進めていきます。全施策については、これまでの95施策を97施策としています。

全ての施策について関連する事務事業を掲げ、令和7年度の行動目標を設定するとともに、重点施策においては進行計画と成果指標についても新たに見直しました。

なお、今回の改訂に係る中間見直し方針は、以下の五点です。

- (1) 地域社会みんなで子どもたちを育てる「共育」「協育」の考え方（理念）を取り入れた施策を強化する。
- (2) 乳幼児期への施策の洗い出しと、0歳から15歳までの切れ目ない教育（共育・協育）のための幼保小中の連携・接続を強化する。
- (3) 新たな時代（Society5.0）を生き抜く子どもに必要な資質・能力の育成を目指したICT教育推進と付随するICT環境整備を強化する。
- (4) 施策体系一覧にSDGsの目標を位置付ける。
- (5) 災害や感染症拡大など、緊急時における対策に関する施策・事業・記述を追加する。

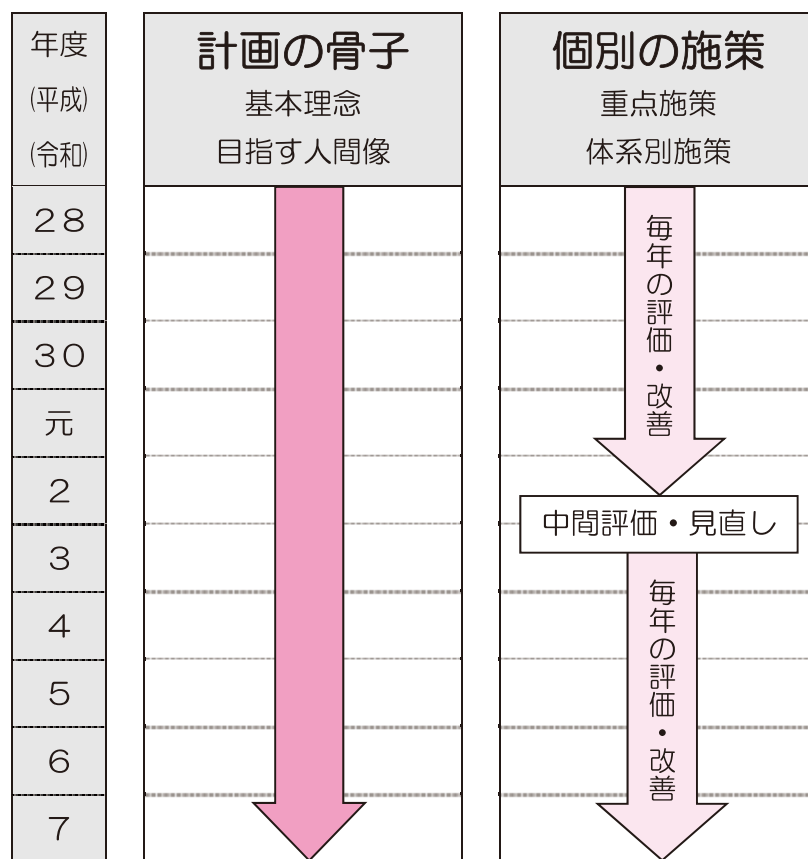
## 4 計画の範囲と位置付け

- 教育委員会が所管する学校教育及び社会教育の分野を中心に、全ての市民の教育に関わる計画とします。
- 上位計画である「みよし市総合計画」との整合性を図り、その個別のプランとして位置付けます。また、教育委員会部局内の計画だけでなく、子育て支援に関わる「児童育成計画」とも連携を図ります。

年度(平成・令和)	総合計画	教育振興基本計画	スポーツ基本計画	子ども読書推進計画	生涯学習計画	児童育成計画
15	第5次 三好町総合計画	三好町教育基本計画			第1次 生涯学習推進基本計画	第1次 児童育成計画
16						第2次 児童育成計画
17						
18						
19						
20	第1次 みよし市総合計画	(改訂) みよし市教育基本計画	スポーツ振興基本計画	第1次 子ども読書活動推進計画	第2次 生涯学習推進基本計画	第3次 児童育成計画
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30	第2次 みよし市総合計画	みよし市教育振興基本計画	スポーツ推進計画	第3次 子ども読書活動推進計画	第3次 生涯学習推進基本計画	第5次 児童育成計画
元						
2						
3						
4						
5				第4次 子ども読書活動推進計画		
6						
7						
8						
9						

## 5 計画の期間

- 平成28年度を起点に、10年間（平成28年度から令和7年度まで）を見据えた、本市の教育の根幹をなす計画とします。
- 当該期間の後期計画開始時にあたる令和3年度から令和7年度までの5年間で改訂版としての期間です。
- 生きた計画、実効性のある計画とするために計画細部の見直しを毎年行い、PDCA（計画・実行・評価・改善）サイクルを確立するとともに、急激な教育環境の変化にも柔軟に対応していきます。



## 本計画におけるSDGs（持続可能な開発目標）との関連

上位計画である「みよし市総合計画」では、持続可能な開発目標（SDGs）を踏まえた施策の推進を掲げています。

本計画においては、SDGsの17のゴールのうち目標4「質の高い教育をみんなに」を中心として、特に関連する次の目標を踏まえています。



なお、P57、P85、P97の「施策体系」には、各施策と関連するSDGsの目標が示してあります。

## SDGsとは

持続可能な開発目標のことで頭文字3文字をとって「エス・ディー・ジーズ」と読みます

**Sustainable Development Goals**  
 サスティナブル（持続可能な）      ディベロップメント（開発）      ゴール（目標）

SDGsの17の目標は2030年の未来を実現するための世界共通の目標です

